ハンドマイク街頭演説原稿例　２０２５年新春宣伝【使用日注意】

二〇二四年十二月二十九日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、２０２５年、明けましておめでとうございます。日本共産党です。昨年は衆議院総選挙はじめ、日本共産党へのご支援、ご協力ありがとうございました。今年もよろしくお願いいたします。本日はこの場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　昨年の総選挙の結果、石破政権与党の自民党と公明党は衆議院の過半数を守れず、少数与党となりました。安倍政権以来、与党が数の力で国民と野党の反対の声を押しつぶして強行することが続きましたが、それができなくなりました。しかも野党が一致すれば予算案の否決や修正ができます。可決されたら内閣が総辞職するか衆議院を解散するしかない、内閣不信任決議の可決もできます。これは、国民の運動しだいで国民の切実な願いが実現できる、そのための法案が可決されうる条件ができたということです。日本共産党はこの条件を生かし、みなさんと力を合わせて切実な願い実現へ、全力でがんばります。

　しかしながらみなさん、国会には衆議院と参議院があり、参議院は自民・公明の与党が今も多数を占めています。予算は衆議院の優越、衆議院の議決が優先されるルールが憲法で決まっていますが、普通の法案は衆議院で可決されても参議院で否決されれば成立しません。この壁を乗り越えるために、日本共産党はみなさんとともに、国会論戦で頑張ります。でも、壁そのものを取り除くチャンスがあります。今年夏の参議院選挙です。

　参議院で自民・公明の壁を取り除くため、日本共産党が大きく伸びることが、どうしても必要です。日本共産党は政党を選ぶ比例代表選挙で元衆議院議員の、はたやま和也さんを含む５議席の獲得、定数４の埼玉選挙区で現職の伊藤岳参議院議員の議席を守るため、全力で頑張り抜きます。日本共産党へのご支持、ご支援をどうぞよろしくお願いします。

　伊藤岳参議院議員は、２０１９年の初当選以来、新型コロナ対策や災害対策、地域の交通を守る問題など、さまざまな問題に取り組み、国会で取り上げてきました。最近ではマイナ保険証の問題で、紙の保険証を守る論戦に取り組み、すべての国会議員の中で最も多くマイナ保険証問題を取り上げている議員と言われています。伊藤岳を埼玉から国会へと押し上げていただきますよう、どうぞよろしくお願いします。

　さてみなさん、昨年末に国の新年度予算案が発表されました。基本的な予算である一般会計は総額約百十六兆円で過去最大です。中身を見ると軍事費、それも他国を攻撃するための武器や装備のための予算が大幅に増やされました。その一方で、国民の暮らしを支える社会保障などの予算は低い水準に抑え込まれています。また、巨大企業しか使えないような支援策がいろいろと盛り込まれました。自民党に多額の政治献金をし、パーティー券を大量に買い込んでいる大企業のために大盤振る舞いしていると言わざるを得ないのではないでしょうか。大多数の国民に冷たい政治を変えるため、日本共産党は全力で頑張ります。また、事実上のワイロである企業・団体献金の全面禁止を実現するため、引き続き取り組んでいきます。日本共産党へのご支持、ご協力をお願いします。

　自民党の裏金問題を最初にスクープした、日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）